

---

**平沢家に居候することになりました。**

半透明の真紅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

平沢家に居候することになりました。

### 【Nコード】

N4301Z

### 【作者名】

半透明の真紅

### 【あらすじ】

櫻井悠は高校二年生に進級……したはずだった。

とりあえずなんだかんだった。

気づいたら浪人だった。

だから、幼馴染の家まで歩いて世話になろうと思った。

家の前で力尽きた。

……けいおん！ の二次創作です。とりあえず皆さんにお楽しみい

ただけたらいいなと思ってますー

## プロローグ(前書き)

とりあえずプロローグです

## プロローグ

〈憂side〉

こんにちは、平沢憂です。

今年からお姉ちゃんと同じ桜が丘高校に入学し、晴れて高校生です！

といつても今日は四月二日。まだ入学はしてないんです。

だからとても待ち遠しくって、ちよつと眠れなかつたりもしてま

す。

まあ、それはさておき。

今日はお姉ちゃんが中華料理が食べたい！ と珍しくリクエストが来たので張り切って作っちゃおうと思い、冷蔵庫を開けたところ足りないものがいくつか……。

ちよつと夕飯が遅くなっちゃいそうだけど、早めにスーパーで必要なものを買って来ようと思い、買い物バックとお財布を持って、お姉ちゃんに一言告げてから玄関へ。靴を履いて、少し暖かくなつた外の空気を浴びるため、扉を開きました。

行つてきます、お姉ちゃん！

玄関前で、人が倒れていました。

「……………」

無言で扉を閉めました。

落ち着いて。落ち着くのは憂。そう、今は幻。玄関前に人が倒れてるなんて、そんな非日常的なことあるわけないよね。

そつだよ。きつと最近眠れなかつたからちよつと疲れてるんだよ。

やっぱりちゃんと睡眠とらないとダメだね。

私は一度深呼吸をして、意を決してもう一度、玄関の扉を開け放ちます！

倒れてた人が、少し近づいていました。

……ばたん。

……

「おねえちゃんあん！！ 変な人がいるよお！！」

（唯side）

「ホントだって！ 人が倒れてるのぉ！」

「んも〜。そんなのいるわけないよ〜」

買い物に行つたはずの憂が何故か涙目になって帰ってきたと思つたら、玄関の前で人が倒れていると言つので一応確認することになりました。

あ、こんにちは。憂の姉の平沢唯です。

今日は最近口に入れてなかった中華料理……特に炒飯が食べたくなつたので憂に頼んで作ってもらおうとしたのですが、憂がこの調子では買い物に行くことができないさそうなので、玄関まで憂一緒にやってきました。

……ホントは帰ってくるまで、ギターで練習しようと思つてたのにな……

とりあえずこの問題を解決しなければ何も始まらないので、腕にぴっとりくっついてる憂を慰めつつ、いるわけないであろう人を

見るため、玄関を開けました！

人が倒れていました。

「おおう、ホントにいた！」

「でしょ！？ どうしよう？……」

これは憂が先に進めなくなるのも分かるかも……。

見たところ、男の人……だなあ。少しはねたクセ毛に、ちよつと傷ついた長袖シャツ。それにジーンズと、いたって普通の格好の人だ。

横顔が見えたので少し顔を近づてみる。……私と同じか、一つ上くらい……。

……あれ？

「ちよつ、お姉ちゃん？」

「ん？？？？」

私はもう少し顔を近づけて確認しました。

……あ、思い出した。

「憂。この人なら心配ないよ」

「え……お姉ちゃん、この人が誰か分かったの！？」

「うん」

私はその場にしゃがみ込むと、倒れている『彼』に声をかけました。

「悠くんだよな？ 大丈夫？」

……  
一瞬の間のもと、『悠くん』は私に気づいたのか、顔だけをこちらに向けて、

「……唯……憂ちゃん……助けてくれ……」

と言って、ばたっとその場に倒れてしまいました。

「……憂」

「……お姉ちゃん」

「……とりあえず、家に入れよう」

今日は四月二日。私は進級して二年生。

だけど高校初の春休みは、普通には終わってくれなさそうです。

## プロローグ（後書き）

まだ始めたばっかなので、勝手が分からず大変です……  
感想、アドバイス等あったらくれると励みになる（^^）待ってま  
す！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4301z/>

---

平沢家に居候することになりました。

2011年12月14日22時47分発行